

三豊市立学校の現状

第2期(2018)～第3期(2026)

三豊市教育委員会 教育総務課

三豊市立学校の現状と目標

第2次総合計画前期5ヶ年間の目標

	2019年	2023年	
認定こども園	0	4	山本地区、豊中地区、仁尾地区、財田地区各1園
幼稚園	19	10	高瀬地区5園、三野地区3園、詫間地区2園
小学校	19	14	答申より高い目標
中学校	7	7	旧町に1校の答申

平成26年4月に詫間地区、箱浦小が詫間小学校に統合、箱浦幼稚園が廃園

平成28年4月に山本地区、辻・河内・大野・神田の4小学校が新設統合

財田地区、財田上・財田中の2小学校が新設統合

平成31年4月に詫間地区、大浜小が詫間小学校に統合

大浜幼稚園が詫間幼稚園に統合

令和2年4月に山本地区、辻・河内・大野・神田の4幼稚園が新設統合※神田幼は平成29年度より休園

令和3年4月に財田地区、財田幼稚園と財田保育所が幼保連携型認定こども園に統合予定

三豊市の目指す適正規模・適正配置

■小学校

- ☞ 12学級以上18学級以下
- ☞ 1学年2学級以上、6学年12学級以上
- ☞ おおむね4km以内

■中学校

- ☞ 12学級以上18学級以下
- ☞ 1学年2学級以上、かつ3学年9学級以上
- ☞ おおむね6km以内

小学校の適正規模とは・・・

国の法令や資料では次のとおりとなっています。

◆学校教育法施行規則第41条・・・小学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があるときは、この限りでない。

◆文部省助成課資料「これからの学校施設づくり」(昭和59年)の中では学校の基本的条件を充たすための指標として、学校規模を学級別に分類し、12学級以上18学級以下を適正規模としています。

◆平成20年3月に香川県と香川県教育委員会が策定した『小中学校の望ましい学校規模について(指針)』では、小学校は12学級以上、中学校は9学級以上が望ましいとされている

これを三豊市の現状にあてはめると

三豊市の学校規模の現状 (令和2年度)

■ 小学校 19校

区分	校数	学校名(学級数)				
過小規模	1	曾保(4)				
小規模	16	上高瀬(10)	勝間(6)	比地(6)	二ノ宮(6)	麻(6)
		大見(6)	下高瀬(7)	吉津(6)	桑山(6)	比地大(6)
		笠田(6)	上高野(6)	本山(6)	松崎(6)	仁尾(11)
		財田(7)				
適正規模	2	山本(12)	詫間(18)			

■ 中学校 7校 ※学校組合立含む

区分	校数	学校名(学級数)				
過小規模	1	和光(3)				
小規模	6	三豊(11) ※	三野津(8)	豊中(9)	詫間(10)	仁尾(6)
		高瀬(11)				

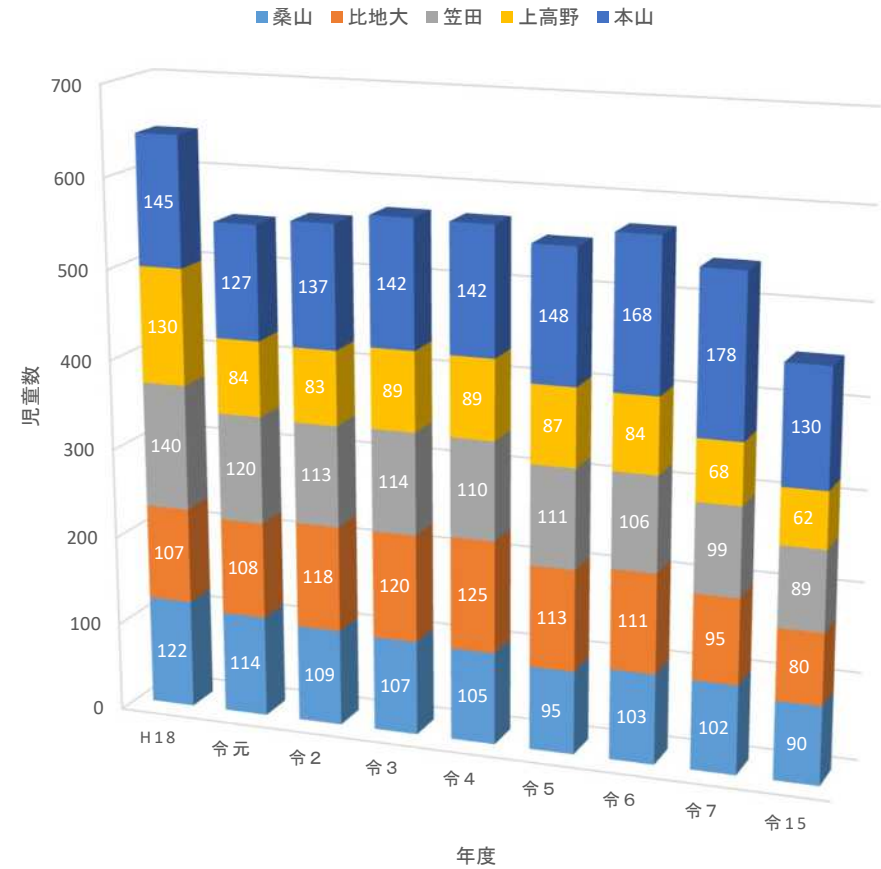
豊中町内の小学校の現状

2019/5/1現在

2019/5/1現在				
桑山小学校	比地大小学校	笠田小学校	上高野小学校	本山小学校
校舎(S51)	校舎(S53)	校舎(S55)	校舎(S53)	校舎(S53)
体育館(H1)	体育館(H2)	体育館(S61)	体育館(S63)	体育館(H3)
H20 耐震補強済	H20 耐震補強済	H24 耐震補強済	H24 耐震補強済	H23耐震補強済
<u>児童数 114名</u>	<u>児童数 108名</u>	<u>児童数 120名</u>	<u>児童数 84名</u>	<u>児童数 127名</u>
学級数				
通常学級 6組	通常学級 6組	通常学級 6組	通常学級 6組	通常学級 6組

豊中町5小学校の児童数の推計

豊中地区5小学校		令和5月1日現在							
年度	H18	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和15
桑山	122	114	109	107	105	95	103	102	90
比地大	107	108	118	120	125	113	111	95	80
笠田	140	120	113	114	110	111	106	99	89
上高野	130	84	83	89	89	87	84	68	62
本山	145	127	137	142	142	148	168	178	130
合計	644	553	560	572	571	554	572	542	451



三豊市における学校適正規模

■小学校

☞ 12学級以上18学級以下

☞ 1学年2学級以上、6学年12学級以上

人間関係の固定化を防ぐとともに、クラスを分けることによって、個人・グループ・クラス単位での比較・競争のできる環境を与えたい。

集団競技など大人数に囲まれながら、勉強やスポーツを実施できること。

教育委員会では、12学級～18学級の学校規模を目指したいと考えます。

再編整備の進め方

■ 小学校

- ☞ 複式学級編成対象となる小学校の解消
- ☞ 全校120人未満の小学校の統合

■ 中学校

- ☞ 当面の間、統合は行わない

三豊市立小学校の再編整備の具体的方策			※平成23年3月答申より		矢印は統合協議の開始する時期を表している。		
町	中学校区	小学校名	前期	後期	将来構想		
			第1期 (H24～H28)	第2期 (H29～R3)	第3期 (’22R4～’26 R8)	第4期 (’27 R9～’31 R13)	第5期 (’32 R14～’36 R18)
高瀬	高瀬中	上高瀬					比地小学校の児童数が3年連続で120人を下回ると推測されるため新設校を建築して統合する。
		比地					
		勝間				二ノ宮小学校が1期に120人を下回る。麻小学校も2期、勝間小学校も3期に120人を下回ることが推測される。基準に沿って統合すると2段階の統合が必要となるため、新設校を建築して3校を一度に統合する。	
		二ノ宮					
		麻					
山本	三豊中	辻		河内小学校と神田小学校が複式学級編成校となり、辻小学校と大野小学校の児童数が3年連続で120人を下回るため新設校を建築し統合する。			
		河内					
		大野					
		神田					
三野	三野津中	大見			吉津小学校と大見小学校の児童数が3年連続で120人を下回ると推測されるため下高瀬小学校を含めた3校を統合する。		
		下高瀬					
		吉津					
豊中	豊中中	桑山			比地大小学校と上高野小学校が1期に120人を下回る。次いで本山小学校、笠田小学校、桑山小学校も2期に120人を下回ると推測される。基準に沿って統合すると3段階の統合が必要になるため、新設校を建築して5校を一度に統合する。		
		比地大					
		笠田					
		上高野					
		本山					
詫間	詫間中	松崎			松崎小学校の児童数が3年連続で120人を下回ると推測されるため詫間小学校と統合する。		
		詫間					
		大浜				箱浦小学校と大浜小学校の複式学級を解消するため詫間小学校と統合する。	
		箱浦					
仁尾	仁尾中	仁尾			曾保小学校の複式学級を解消するため仁尾小学校と統合する。		
		曾保					
財田	和光中	財田上		財田上小学校と財田中小学校の児童数が3年連続で120人を下回るため新設校を建築して統合する。			
		財田中					
学校数		25	22	18	11	9	9

これまでに統合を行った地区の取り組み

■ 地区学校再編協議会の設置

☞ 各町単位で設置

☞ 委員会構成

○ 保護者代表(保育所、幼稚園、小学校、中学校)

○ 自治会代表者

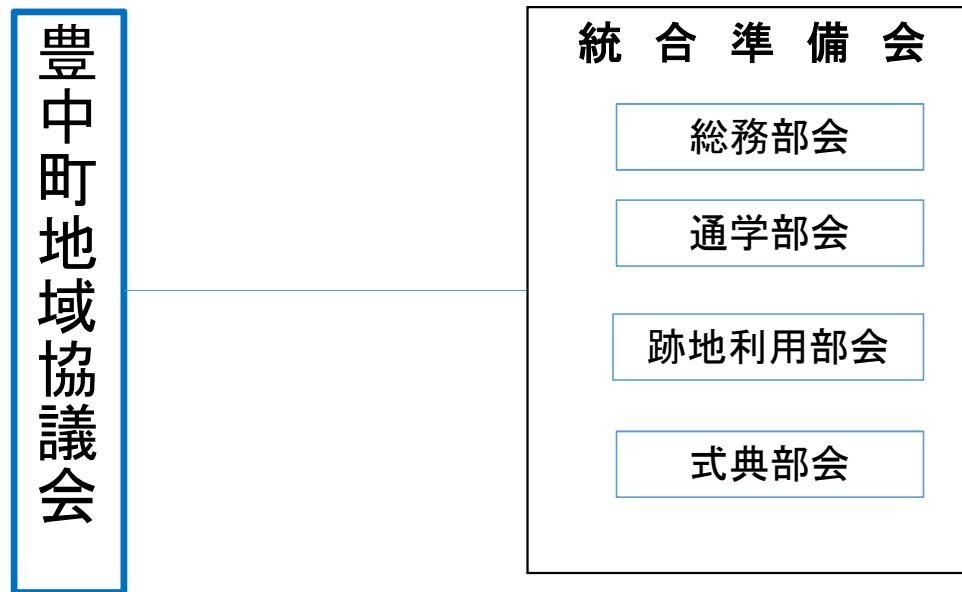
○ 地区公民館長 等

☞ 学校再編整備に関する事項の協議

■ 地区統合準備会の設置

☞ 新たな学校のスタートに必要な事項の協議

地域協議会と統合準備会の構成(案)



- ・各部会には、各校区の代表者が入ります。
- ・統合準備会は、部会ごとに協議を行い、協議結果を地域協議会で報告します。

2026年4月(R8年)

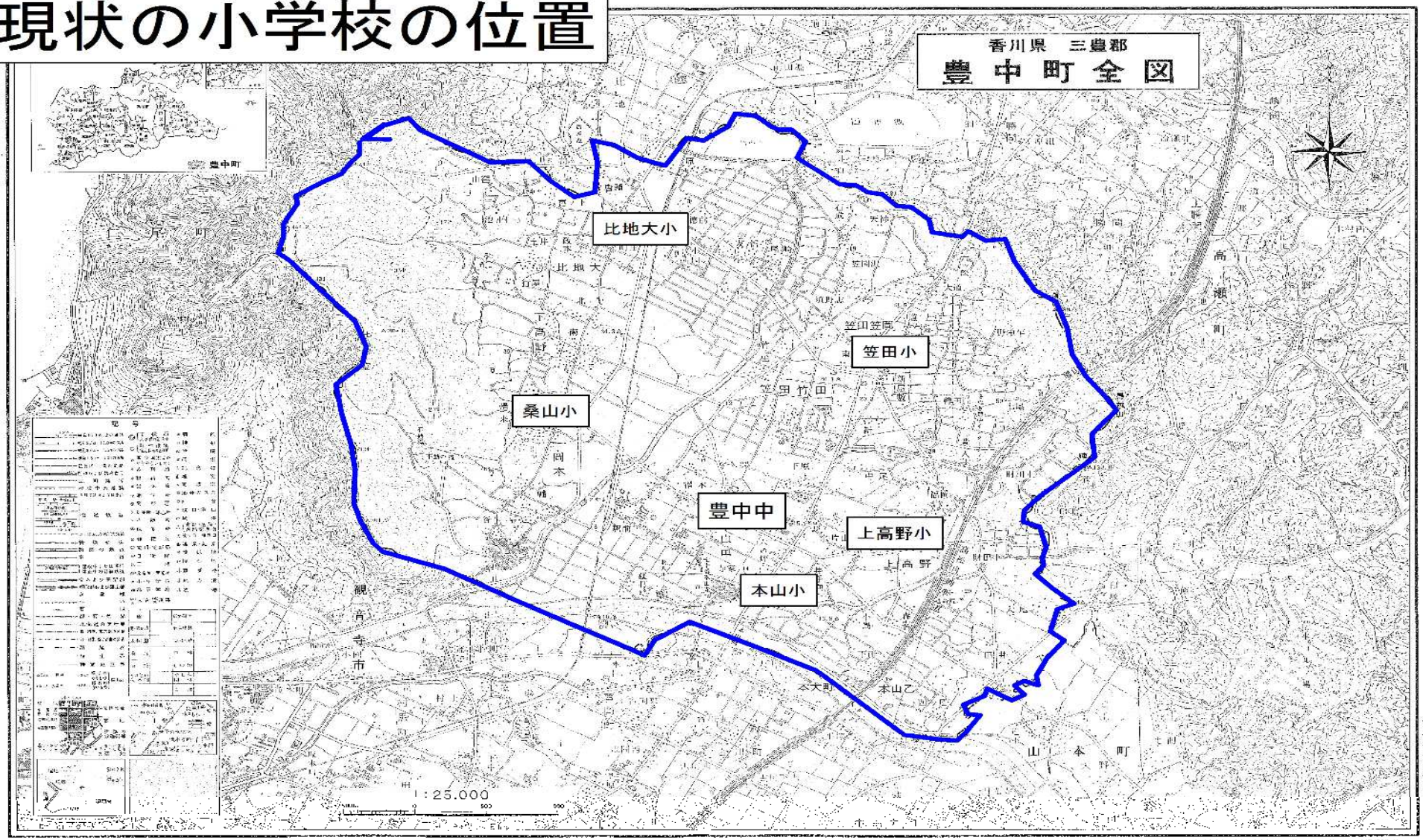
~~2025年4月(R7年)~~に開校に向けたスケジュール(案)

年	月	内容
令和元年度(2019)		現況説明会 PTA代表・地域代表者 地域協議会・統合準備会
令和2年度(2020)		基本設計 用地取得 地域協議会 統合準備会
令和3年度(2021)		用地取得
令和4年度(2022)		実施設計 基本設計 用地取得
令和5年度(2023)		建築 実施設計
令和6年度(2024)		建築 校舎等 建築
令和7年度(2025)		新設統合小学校開校 校舎等 建築

令和8年度(2026)

新設統合小学校開校

現状の小学校の位置



この地図は地籍図に地籍図の更新を施して、現況を反映したものである。正確性を保つて提供するため、この地図は、必ずしも正確な位置を示すものではありません。

最後に

子どもたちへの教育環境の整備は最優先される課題であり、同世代の多様な考えに触れ、互いに学びあう機会を作り、子どもたちがたくましく育つ環境を整備するために再編整備を進めるものです。

今回、将来の児童数等をお示し地域の皆様にも考えていただく機会として説明会を開催いたしました。統合については、子どもたちと地域住民のご理解・ご協力が必要です。これらがなければ、地域の良好なコミュニティ作り・維持が困難と考えますので、今後とも地域の皆様と共により良い学校、地域を考えてまいりますので、よろしくお願いいたします。